

東南アジア考古学会 2022 年度オンライン企画：

TAIWAN 考古学セミナー・シリーズ《台湾考古学の新視点》

第 4 回：2023 年 2 月 11 日（土）14:30-15:30 (日本時間)

**台湾考古学と陶磁器研究**  
**－台湾における歴史考古学の歩み**

**盧 柔君**

**(国立台湾大学人類学系)**

**要旨**

台湾考古学の発達は 19 世紀末に日本学者により台湾で考古学が開始されてから常に、先史時代に重点をおくものであった。一方、20 世紀末より、原住民族研究が注目されはじめると同時に、いわゆる歴史考古学への関心も徐々に高まりを見せるようになった。歴史文献への登場が遅い台湾の歴史考古学には、他の東アジア諸国と本質的に異なるところもあるが、これら国々に囲まれるなかでともに織りなした部分もある。今回の発表では東アジアにおける台湾歴史考古学の特異性を考慮しながら、考古学研究史上の転換点と共に、歴史考古学・陶磁考古学の歩みを検討する。とりわけ研究例を通じて台湾における陶磁考古学の研究成果及び今後の展望について、今回の発表では考えてみたい。